

## 第 70 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 材料分科会 議事録

1. 日 時: 2014 年 2 月 18 日(火)13 時 30 分～15 時 50 分

2. 場 所: 日本機械学会 第 2 会議室

3. 出席者: 木村(NIMS)、伊藤(IHI)、井手(東電)、齊藤(中電)、根岸(関電)、俣野(KHI)、野口(新日鐵住金)、戸田(NIMS)、菊原(BHK)

欠席者: 清水(MHI)

事務局: 海野

### 4. 配付資料

70 - 1 . 第 69 回材料分科会議事録(案)

70 - 2 . 材料分科会委員名簿

70 - 3 . 第 66 回火力専門委員会議事録

70 - 4 . 第 21 回材料専門委員会議事録

70 - 5 . 第 67 回規格委員会議事録

70 - 6 - 1 . 表 -1-3 及び表 -2-3 の審議用レビュー票

70 - 6 - 2 . 表 -1-2 の審議用レビュー票

70 - 6 - 3 . 表 -2-2 の審議用レビュー票

70 - 6 - 4 . 表 -1-4 の審議用レビュー票

70 - 6 - 5 . P4 材の熱処理温度について

70 - 6 - 6 . Grade 92 の許容応力値について

### 5. 議 事

#### (1) 前回議事録確認

[資料 70-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、出席委員全員の賛成で議事録案は承認された。

#### (2) 分科会委員の確認

[資料 70-2]

木村委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、主査候補として出席委員の互選により木村委員が再任され、次回火力専門委員会に承認依頼することとなった。なお、退任委員及び新任候補はないことが報告された。

#### (3) 火力専門委員会・材料専門委員会・規格委員会他報告

##### (3 - 1) 火力専門委員会

[資料 70-3]

第 66 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第 69 回材料分科会報告
- ・ 発電用設備規格委員会補足倫理規定案の書面投票結果について

- ・ 委員会資料の取り扱い内規案の書面投票結果について
- ・ 次期火力専門委員会委員長の選任結果について
- ・ 火 STPA24J1 系鋼と火 SCPH91 鋼の許容値等の見直し結果の技術的妥当性を、材料専門委員会に検討依頼することが了承された

### (3 - 2) 材料専門委員会報告

[資料 70-4]

第 21 回材料専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ Tracking List による審議未了案件(5 件)の確認について
- ・ 委員会資料取扱内規の書面投票について書面投票結果について
- ・ 発電用設備規格委員会補足倫理規定の書面投票結果について
- ・ 火 STPA24J1 系鋼と火 SCPH91 鋼の許容値等の見直し結果の技術的妥当性について、火力専門委員会から検討が依頼された場合、新規案件として新材料規格化分科会が検討を行う
- ・ 一部誤記修正(誤:原子力専門委員会, 正:材料専門委員会)の指摘があった

### (3 - 3) 規格委員会報告

[資料 70-5]

第 67 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

## (4) 審議事項

### (4 - 1) レビュー票審議

#### (4 - 1 - 1) 許容応力表 -1-3 及び表 -2-3

[資料 70-6-1]

根岸委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ 新規材種取入れに関するアンケート結果の反映(取入れ:鉄鋼 3 鋼種、非鉄 5 材種)
- ・ Supplements No.6-11 を確認した結果の反映(削除:鉄鋼 CC2364、非鉄 CC2362)
- ・ Grade 91 鋳鋼(CC2192)は許容引張応力を確認する
- ・ Sec. 取り込みにより削除された CC2315 は残し、次回改訂で表 -2-1 に取り入れる
- ・ CC2652 の取り込みに際して必要となる ASME Sec. VIII, Div. 1 Subsection C, Part UNF の取り込み検討を構造分科会に依頼する
- ・ 追加の新規材種の取り込み是非についてアンケートを実施する

#### (4 - 1 - 2) Grade 92 の許容応力値について

[資料 70-6-6]

木村主査より Grade 92 の 550 の許容応力について調査結果が報告され、審議を行った。

- ・ CC2179-8 の 550 の許容引張応力値が、CC2179-7 からの補間換算値と異なるのは、非クリープ支配温度域からクリープ支配温度域へ遷移する温度域において、華氏と摂氏の温度間隔の違いにより生じたものである
- ・ Grade 92 系鋼の許容引張応力値を決定した

(4 - 1 - 3)許容応力表 -1-2(ASME Section II 鉄鋼材料) [資料 70-6-2]

井手幹事よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ Grade 91 系鋼の許容引張応力について、H23 年度 RHC 委員会の審議結果による許容引張応力改定案との比較検証結果を確認した
- ・ Grade 91 系鋼の変更理由の小分類を 1 から 2 に修正

(4 - 1 - 4)許容応力表 -2-2(ASME Sec 材 非鉄材料) [資料 70-6-3]

齋藤委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ 新規材種取入れアンケートの結果、Ti-3Al-2.5V-0.1Ru (旧 Code Case 2425)を取り入れる

(4 - 1 - 5)許容応力表 -1-4(ASME B31.1 鉄鋼材料) [資料 70-6-4]

菊原委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ 備考の ASME B31.1 の記載について、JSME 第 章への記載変更を検討する
- ・ Grade 91 鋳鋼品(C12A)の記載を確認する

(4 - 1 - 6)P4 材の熱処理温度について [資料 70-6-5]

伊藤副主査より P4 材の熱処理温度に関する調査結果が報告され、審議を行った。

- ・ 火技解釈の P 番号4の最低温度を現状の 595 から 650 とする
- ・ JIS B8267 の質問事項は回答待ち

## 6. 次回開催予定

日 時:2014 年 4 月 23 日(水)13:30 ~ 17:00

場 所:日本機械学会 第2会議室

## 7. 添付資料

添付1:審議履歴表

以 上